

第4回企画展

「明治の時代の文書展」

展示資料目録

「明治の時代の文書展」

相模原市立公文書館 第四回企画展

内務省許丁第三三號
明治二十二年七月十五日稟請
神奈川県津久井郡青根村條
例第一号常設學務委員ニ關
スル件
右町制第百廿五條ニ依リ
之ヲ許可ス
明治廿二年十月八日
内務大臣伯爵山縣有朋
内務省

〔開催期間〕 平成 27 年
10 月 22 日 (木) ≧ 12 月 27 日 (日)
休館日：月曜日 (11 月 23 日を除く) 毎月第 3 水曜日、11 月 24 日

〔開催時間〕 午前 8 時 45 分～午後 5 時 00 分

〔開催場所〕 相模原市立公文書館

平成 27 年 10 月発行
相模原市立公文書館

相模原市立公文書館第4回企画展示の内容について

テーマ 近代化が進められた明治の時代に、町や村ではどのような文書が作成され取得されてきたのでしょうか。

戸長役場の文書や明治22年の条例第一号許可文書、御皇室御関係書などを展示して振り返りました。

展示文書の利用について 展示している資料の内、歴史的公文書は、展示期間終了後、公文書館で所定の手続きを行い、利用(一部を除く)することができます。ただし、次の展示目録の表中に 印がある番号の文書は、目録作成後に利用に関する手続きを行うことができます。

【展示目録】

	年 代	文書名・町村組合名
1	明治14年	郡役所達 長竹村
2	明治17年以降	裁許状上申書、契約書協定書、土地所有権登記(保存) 誤訂正登記済書 青根村外二ヶ村組合
3	明治22年～26年	町村制関係書類 烏屋村
4	明治17年～22年	戸長役場書籍引継目録 烏屋村
5	明治22年	村条例許可証(常設学務委員二関スル件) 青根村
6	明治23年	村条例許可証(特別税制新設ノ件) 青根村
7	明治24年～26年	村会二関スル諸雑書全 青根村
8	明治22年～34年	諸官庁伺上申届出書 川尻村
9	明治28年	引継目録綴 小原町外二ヶ駅村組合
10	明治24年度～31年度	烏屋村村会議事録 烏屋村
11	明治32年～35年	勸業に関する書類 川尻村
12	明治36年～39年	郡役所令達書 川尻村
13	明治42年～44年	土木二関スル書類 串川村
14	明治42年～大正元年	村会議決書並びに会議録 串川村
15	明治45年	御皇室御関係書 青根村
16	明治27年～昭和15年	新磯村条例規則及諸規程 新磯村
17	明治36年～昭和16年	条例規則規定 大野村
18	明治38年～昭和14年	条例規則及諸規程 相原村
19	明治36年～昭和15年	条例規程 大澤村
20	明治36年～昭和15年	条例規程 上溝町
21	明治45年～昭和15年	条例規程 麻溝村
22	明治12年	牧野村絵図 牧野村
23	明治44年	川尻村里道上電話線經過略圖 川尻村

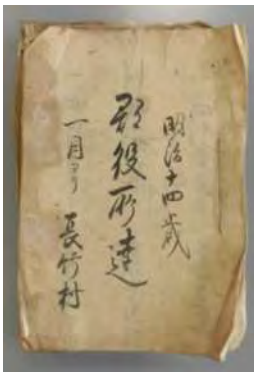

主な展示内容

明治10年代

この年代は地方制度が大きく変わった時代です。
特に町村にかかわる制度の概要は次のとおりです。

明治 4 年	<u>戸籍法制定</u> 全国に区設置(行政区画)、戸長・副戸長配置
明治 5 年	<u>大区・小区制導入</u>
明治 11 年	<u>郡区町村制法制定</u> 大区・小区を廃止して、県の下に郡区町村を設置し郡長・区長・戸長配置
明治 13 年	<u>区町村会法制定</u> 区町村に公選議員からなる区町村会を設け、公共に関する事件及びその経費の支出・徴収方法の議定権付与
明治 17 年	<u>連合戸長役場の設置</u> 数村をひとつの単位とする連合戸長役場が設置された。

【展示資料】

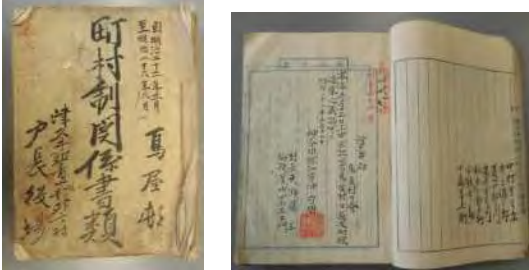

1.	明治14年 郡役所達 長竹村	 <p>津久井郡長から長竹村戸長に出された^{たし}達(明治14年1月～同年12月)の綴りです。文書はくずし字が多く江戸時代を色濃く残すものです。郡から村には様々な指導・指示があります。展示のページは徴兵事務についての指示が書かれています。</p>
2.	明治17年以降 裁許状上申書、契約書協定書、土地所有権登記(保存) 誤訂正登記済書 青根村外二ヶ村組合	 <p>表紙には明治17年以降と書かれていますが、牧野村と青根村が入会地の境界をめぐる、争った件についての文書が明治10年から綴られています。このページは、明治11年の横浜裁判所での判決文です。</p>

明治20年代以降

明治21年に市制・町村制が制定され、現在に近い行政制度になりました。
市町村に関する概要は次のとおりです。

明治21年	<p>市制・町村制定</p> <ul style="list-style-type: none">市町村に法人格を認め、公共事務・委任事務を処理するものとし、条例・規則の制定権付与。市町村会は公民の等級選挙制に基づく議員で構成。執行機関は市にあっては市長、市参事会、町村にあっては町村長。市長は市会からの推薦のあった者のうちから内務大臣が選任。町村長は町村会で選挙。
-------	---

【主な展示資料】

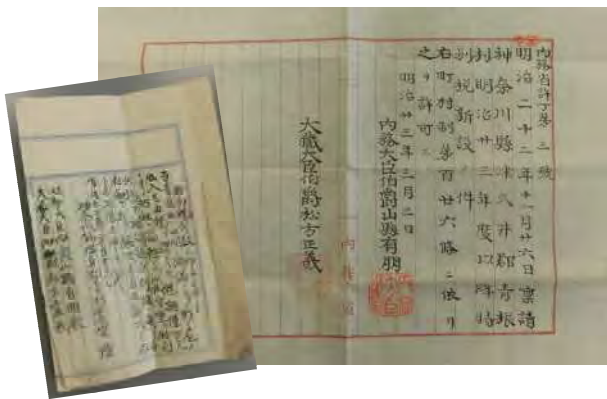
3. 明治22年～26年 町村制関係書類	鳥屋村
	<p>明治22年に市制・町村制が施行され、新たに村会議員が選挙で選出されました。村会議では、その選出された議員で村長、助役の選挙が実施されました。</p> <p>この文書は明治22年5月22日鳥屋村の村長、助役の選挙結果を県知事が認可したものです。</p>
4. 明治17年～22年 戸長役場書籍引継目録	鳥屋村
	<p>明治22年に市制・町村制が施行されたことにより、戸長役場から各村長に書籍が引き継がれたときの目録です。</p> <p>この綴りは青山村、長竹村、鳥屋村戸長役場から村(青山村、長竹村と鳥屋村)に引き継がれています。</p>

5. 明治22年 村条例許可証(常設学務委員二関スル件) 青根村



青根村の条例第一号が内務大臣伯爵山縣有朋より、明治22年10月8日に許可されたときの文書です。

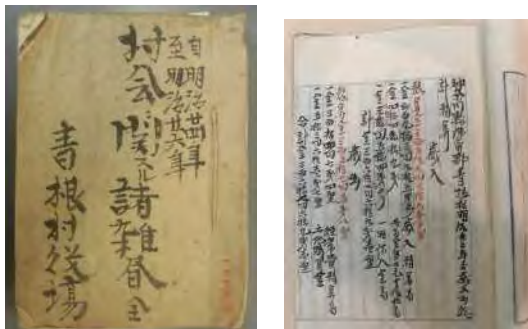
6. 明治23年 村条例許可証(特別税制新設ノ件) 青根村



青根村の特別税を新設する件に対して、内務大臣伯爵山縣有朋、大蔵大臣伯爵松方正義より、明治23年3月3日に許可されたときの文書です。

また、左の綴りの文書は、青根村で上申書などの控えを作成した文書です。

7. 明治24年～26年 村会二関スル諸雑書全 青根村



青根村が明治24年に作成した明治23年度の歳入歳出総計算書です。

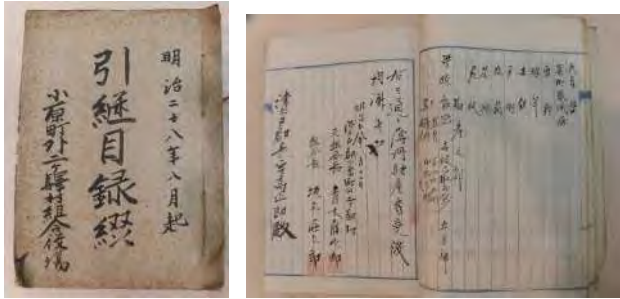
8. 明治22年～34年 諸官庁伺上申届出書 川尻村



この綴りは川尻村が、神奈川県庁、津久井郡長に選挙の結果や、様々な規程をつくり上申して、認可された書類を綴っています。川尻村が、明治25年10月18日付で「村役処務規定」を定め、津久井郡長に上申したものです。

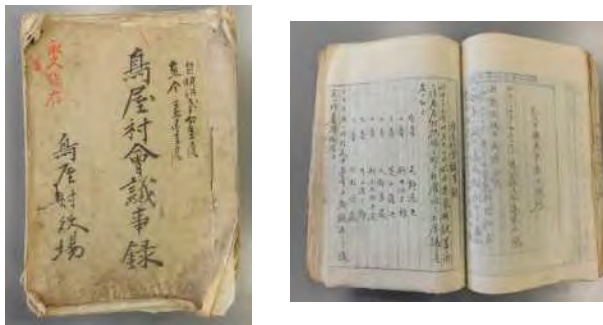
同年11月24日付で津久井郡長より認可されています。

9. 明治28年8月 引継目録綴 小原町外二ヶ駅村組合



小原町、与瀬駅、千木良村戸長役場がありました。それが小原町外二ヶ駅村組合という行政組織にかわりました。この文書は組合長が替わったときの引き継ぎ目録です。

10. 明治24年度～31年度 鳥屋村村会議事録 鳥屋村



鳥屋村の村会議の議事録が綴られています。このページは事業者(武相電力)が早戸川で水力発電所を設置するための議案を明治29年4月26日に議決した文書です。

11. 明治32年～35年 勸業二関スル書類 川尻村



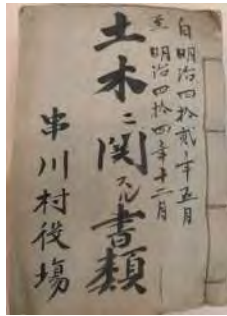
この綴りは勸業(農工商業の産業の奨励)に関する文書が綴られています。このページは津久井郡役所より川尻村役場に共進会(産業振興を図るための品評会)の準備を指示する文書です。

12. 明治36年～39年 郡役所令達書 川尻村



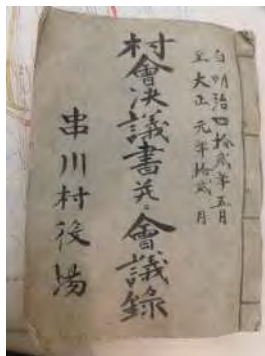
この綴りは津久井郡長から川尻村役場への令達書の綴りです。このページは日露戦争の戦時記念として、植林事業を経営するよう指示した内容です。

13. 明治42年～44年 土木二関スル書類 串川村



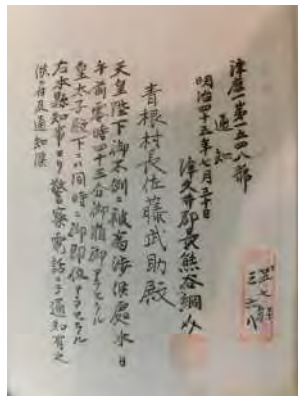
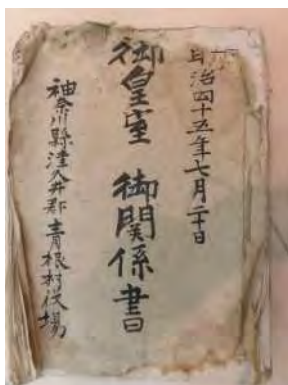
この文書は串川村の土木工事、建築工事関係の書類が綴られています。
このページは明治43年6月1日に西青山小学校増築工事の請負契約書です。
貼付されている収入印紙が当時を物語っています。

14. 明治42年～大正元年 村会決議書並二会議録 串川村



この文書は串川村の村会決議書と会議録が綴られています。
このページは明治45年6月26日に横浜市水道局長より、工事上の支障のため、横浜市水道用地内の里道、水路の廃止、新設の申出があり、これを認め議決した記録です。

15. 明治45年 御皇室御関係書 青根村



この綴りは天皇陛下御容体に関して、官報や津久井郡長からの通知書が綴られています。
このページは御崩御の際の通知文です。

第4回企画展「明治の時代の文書展」展示資料目録

編集・発行

相模原市立公文書館

発行日 平成27年10月22日

〒252-5192 相模原市緑区久保沢1丁目3番1号

城山総合事務所第2別館3階

042-783-8053